

# 平成30年度 後発医薬品の使用に関する実態調査 結果概要

平成31年4月  
愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課

無断転載を禁ずる

## はじめに

---

後発医薬品の使用に関する実態及び課題等を調査・分析するため、愛知県内の全薬局（平成30年10月時点、3,343薬局）を対象とした郵送によるアンケート調査を行った。

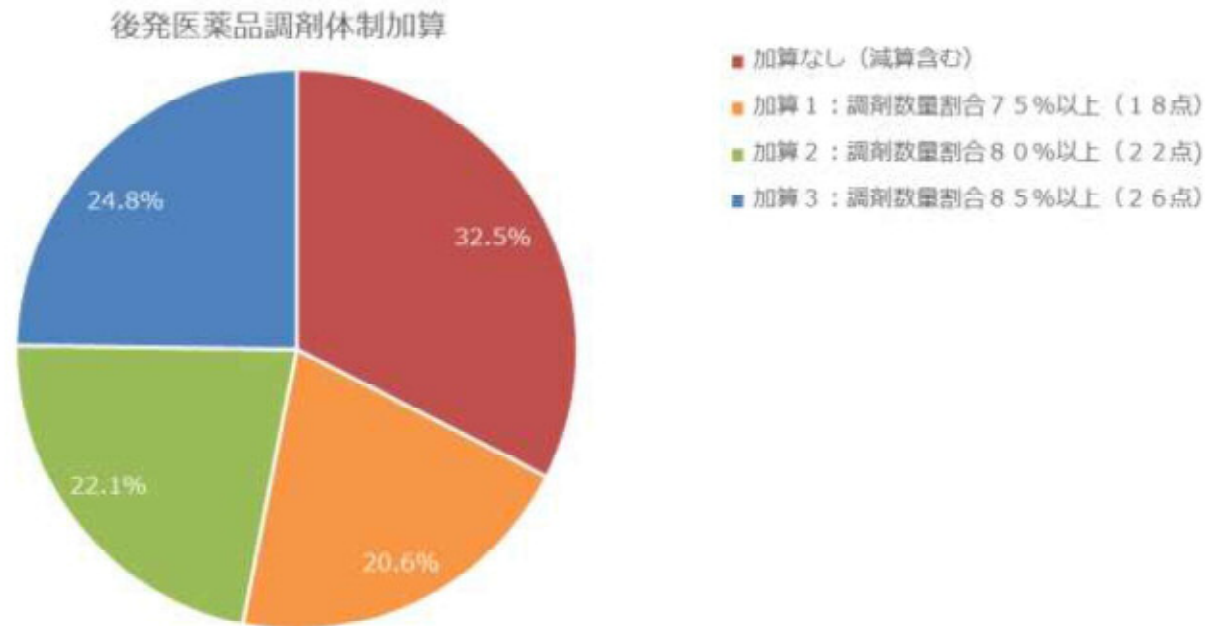
調査票発送日	: 平成30年11月20日(火)
調査票収集期間	: 平成30年11月21日(水)～平成30年12月12日(水)
回収率	: 74.6% (2,495薬局/3,343薬局)

# 1. 後発医薬品調剤体制加算

後発医薬品調剤割合が75%以上と高く体制加算を算定している薬局が67.5%を占める一方、後発医薬品調剤割合が低く体制加算を算定していない薬局が32.5%存在する。

問16 後発医薬品調剤体制加算の算定（平成30年10月1日時点）について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 加算なし（減算含む）
2. 加算1：調剤数量割合75%以上（18点）
3. 加算2：調剤数量割合80%以上（22点）
4. 加算3：調剤数量割合85%以上（26点）



No.	後発医薬品調剤体制加算	件数	割合
1	加算なし（減算含む）	787	32.5%
2	加算1：調剤数量割合75%以上（18点）	499	20.6%
3	加算2：調剤数量割合80%以上（22点）	536	22.1%
4	加算3：調剤数量割合85%以上（26点）	600	24.8%
	合計	2,422	100.0%
	無効回答	73	—

## 2. 後発医薬品の説明・調剤に関する対応状況

「後発医薬品の説明・調剤にまったく取り組んでいない」薬局は0.4%と少なく、「ほとんど取り組んでいない」も0.3%、「あまり取り組んでいない」も2.3%と、取り組みに消極的な薬局は少ない。

問20 後発医薬品の説明・調剤に関する貴薬局の対応状況について、あてはまる番号に1つ ○をつけてください。

1. 後発医薬品の説明・調剤にまったく取り組んでいない
2. 後発医薬品の説明・調剤にほとんど取り組んでいない
3. 後発医薬品の説明・調剤にあまり取り組んでいない
4. 後発医薬品の説明・調剤にある程度取り組んでいる
5. 全般的に、積極的に後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる

後発医薬品の説明・調剤に関する対応状況



No.	後発医薬品の説明・調剤に関する対応状況	件数	割合
1	後発医薬品の説明・調剤にまったく取り組んでいない	11	0.4%
2	後発医薬品の説明・調剤にほとんど取り組んでいない	8	0.3%
3	後発医薬品の説明・調剤にあまり取り組んでいない	58	2.3%
4	後発医薬品の説明・調剤にある程度取り組んでいる	584	23.6%
5	全般的に、積極的に後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる	1,810	73.2%
合計		2,471	100.0%
無効回答		24	—

### 3. 後発医薬品の説明・調剤に積極的には取り組んでいない理由

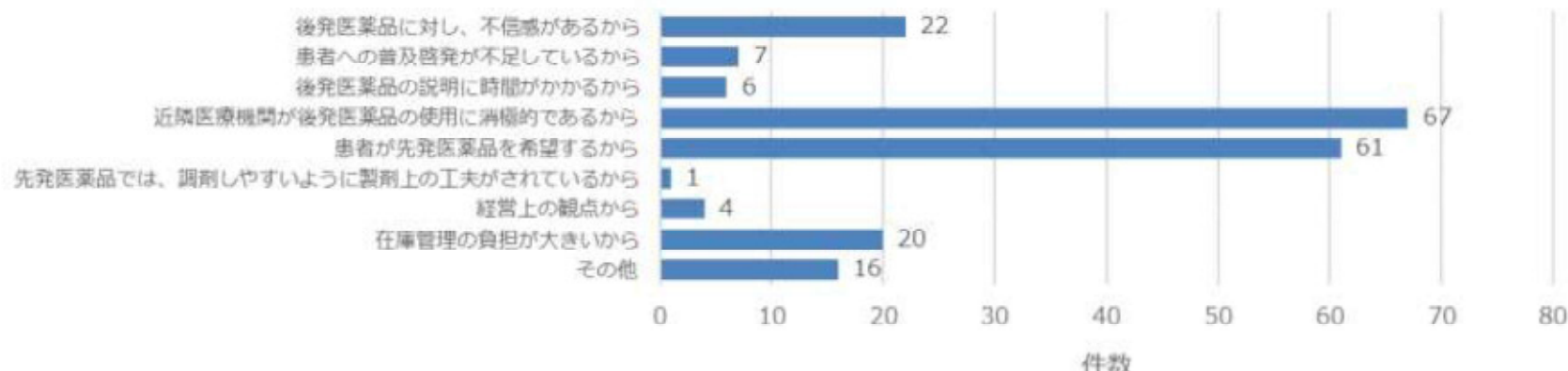
後発医薬品の説明・調剤に積極的には取り組んでいない理由は「近隣医療機関が後発医薬品の使用に消極的であるから」が最も多く、次いで「患者が先発医薬品を希望するから」が多い。

問21 問20で1～3を選択した場合に回答してください。

後発医薬品の説明・調剤に積極的には取り組んでいない理由について、あてはまる番号に○をつけてください。（※複数選択可）

1. 後発医薬品に対し、不信感があるから
2. 患者への普及啓発が不足しているから
3. 後発医薬品の説明に時間がかかるから
4. 近隣医療機関が後発医薬品の使用に消極的であるから
5. 患者が先発医薬品を希望するから
6. 先発医薬品では、調剤しやすいように製剤上の工夫がされているから
7. 経営上の観点から
8. 在庫管理の負担が大きいから
9. その他（ ）

後発医薬品の説明・調剤に積極的には取り組んでいない理由



No.	後発医薬品の説明・調剤に積極的には取り組んでいない理由	件数
1	後発医薬品に対し、不信感があるから	22
2	患者への普及啓発が不足しているから	7
3	後発医薬品の説明に時間がかかるから	6
4	近隣医療機関が後発医薬品の使用に消極的であるから	67
5	患者が先発医薬品を希望するから	61
6	先発医薬品では、調剤しやすいように製剤上の工夫がされているから	1
7	経営上の観点から	4
8	在庫管理の負担が大きいから	20
9	その他	16
	合計	204

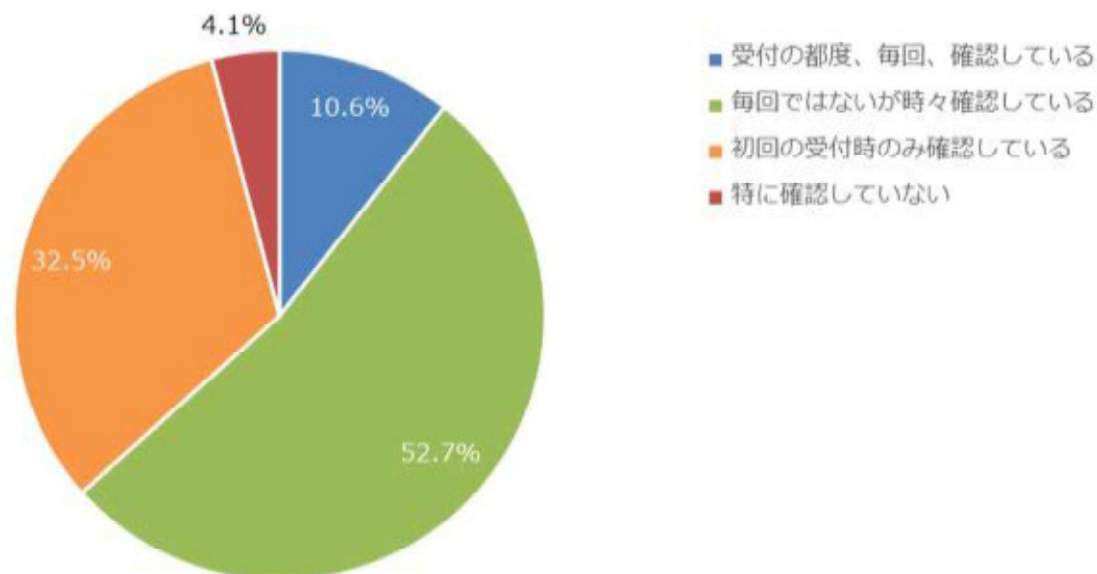
## 4. 後発医薬品使用に関する意向確認頻度（過去に一度拒否された場合以外）

後発医薬品の説明・調剤は「毎回ではないが時々確認している」が52.7%と最も多い。「初回の受付時のみ確認している」「特に確認していない」薬局が約1/3を占める。

問24 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握・確認する頻度（問23の場合を除く）について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 受付の都度、毎回、確認している
2. 毎回ではないが時々確認している
3. 初回の受付時のみ確認している
4. 特に確認していない

後発医薬品の説明・調剤に関する対応状況



No.	後発医薬品の説明・調剤に関する対応状況	件数	割合
1	受付の都度、毎回、確認している	242	10.6%
2	毎回ではないが時々確認している	1,199	52.7%
3	初回の受付時のみ確認している	739	32.5%
4	特に確認していない	94	4.1%
合計		2,274	100.0%
無効回答		221	—

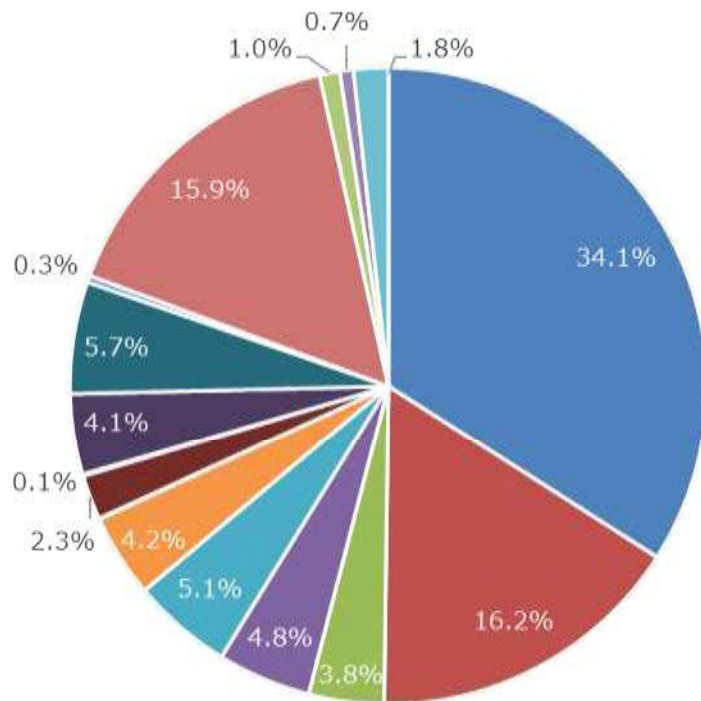
## 5. 患者が後発医薬品を希望しなかった理由

患者が後発医薬品を希望しなかった理由では、「後発医薬品の効果や副作用に不安があるから」が34.1%と最も多く、次いで「自己負担が無いから」が16.2%、「使いなれたものがよいから」が15.9%と多い。

問27 患者が後発医薬品を希望しなかった理由で最もあてはまる番号に1つ○をつけてください。

- |                                     |                                 |                  |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------|
| 1. 後発医薬品の効果や副作用に不安があるから             | 2. 自己負担が無いから                    |                  |
| 3. 思ったほど自己負担が下がらないから                | 4. 後発医薬品に切り替えて、副作用が出たことがあるから    |                  |
| 5. 後発医薬品に切り替えて、効果が悪くなったことがあるから      | 6. 後発医薬品に切り替えて、使用感が悪くなったことがあるから |                  |
| 7. 安く売れる理由が不可解だから                   | 8. 高いものは良いものだと考えるから             | 9. 聞き慣れないメーカーだから |
| 10. 報道等で後発医薬品の品質、効果等に関してよい情報を聞かないから | 11. 医師がすすめないから                  | 12. 薬剤師がすすめないから  |
| 13. 家族や知人がすすめないから                   | 14. 使いなれたものがよいから                | 15. 理由は特にな       |
| 16. 不明                              | 17. その他（                        |                  |

患者が後発医薬品を希望しなかった理由



- 後発医薬品の効果や副作用に不安があるから
- 自己負担が無いから
- 思ったほど自己負担が下がらないから
- 後発医薬品に切り替えて、副作用が出たことがあるから
- 後発医薬品に切り替えて、効果が悪くなったことがあるから
- 後発医薬品に切り替えて、使用感が悪くなったことがあるから
- 安く売れる理由が不可解だから
- 高いものは良いものだと考えるから
- 聞き慣れないメーカーだから
- 報道等で後発医薬品の品質、効果等に関してよい情報を聞かないから
- 医師がすすめないから
- 薬剤師がすすめないから
- 家族や知人がすすめないから
- 使いなれたものがよいから
- 理由は特にな
- 不明
- その他

## 6. 先発医薬品変更不可処方せん割合

先発医薬品変更不可処方せん割合は0-10%が1,734件と最も多く、大半の薬局では変更不可処方せんの課題感はみられない。一方、先発変更不可処方せんが50%以上を占める薬局が122件存在し、一部の薬局においては大きな課題と考えられる。

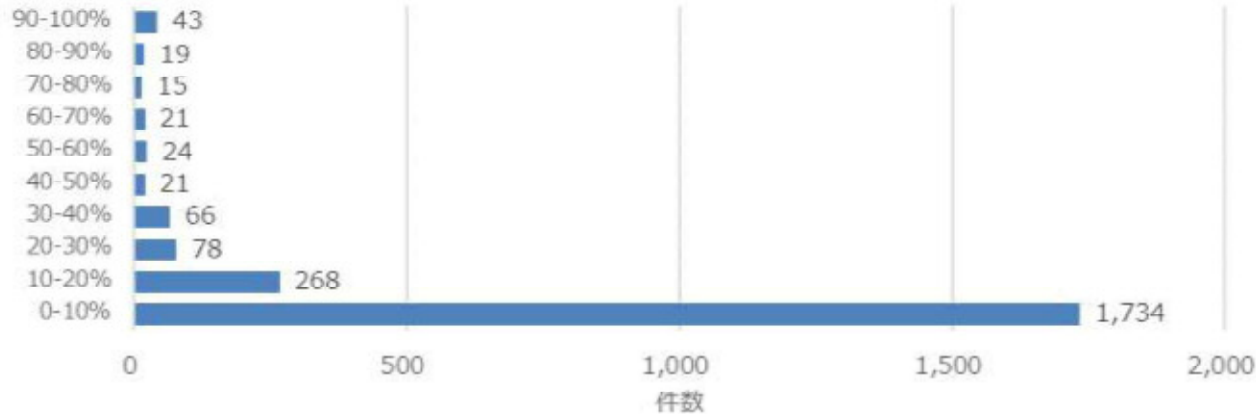
問31 先発医薬品（準先発品）名で処方され、変更不可となっている医薬品が1品目でもある処方せんの割合（平成30年10月1ヶ月間）を記入してください。

□ %

問32 問31の前年同時期と比較した結果について、あてはまる番号に1つ ○をつけてください。

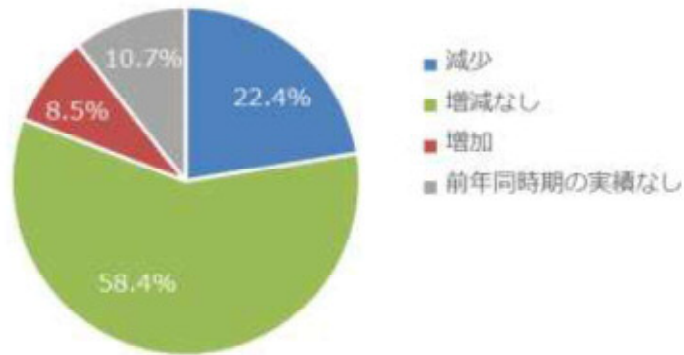
1. 減少 2. 増減なし 3. 増加 4. 前年同時期の実績なし

先発医薬品変更不可処方せん割合



No.	変更不可割合	件数
1	90-100%	43
2	80-90%	19
3	70-80%	15
4	60-70%	21
5	50-60%	24
6	40-50%	21
7	30-40%	66
8	20-30%	78
9	10-20%	268
10	0-10%	1,734
合計		2,289
無効回答		206

変更不可処方せん割合（前年同時期と比較）



No.	変更不可処方せん割合（前年同時期と比較）	件数	割合
1	減少	505	22.4%
2	増減なし	1,314	58.4%
3	増加	191	8.5%
4	前年同時期の実績なし	240	10.7%
合計		2,250	100.0%
無効回答		245	—



## 7. 一般名処方割合

一般名処方割合が80%以上と回答した薬局は1,300件と多く、一般名処方が広く普及している実態がうかがえる。

一方で0-10%と回答した薬局も209件存在する。一般名処方率は前年同期と比較すると増加傾向にある。

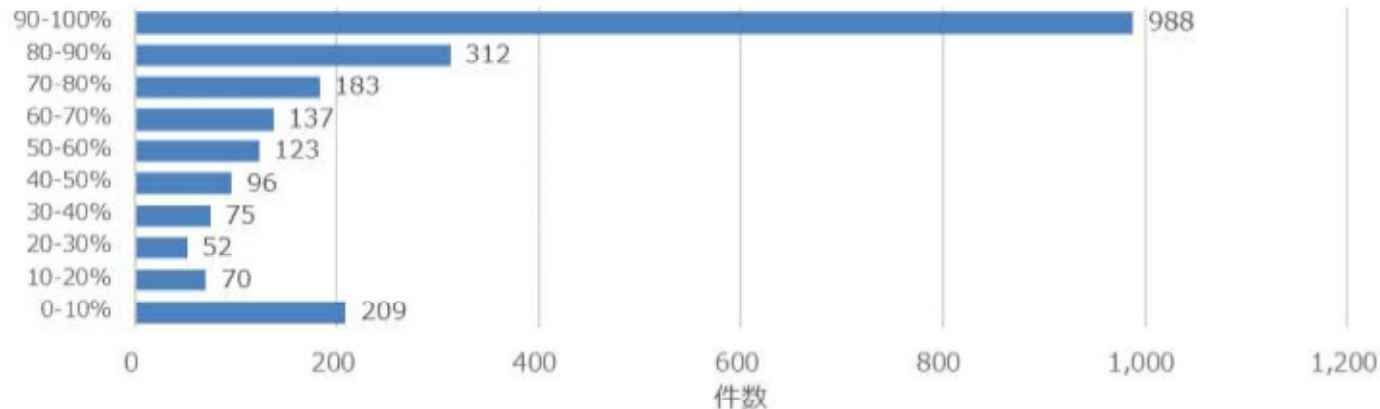
問33 1品目でも一般名処方が含まれている処方せんの割合（平成30年10月1ヶ月間）を記入してください。

 %

問34 問33の前年同期と比較した結果について、あてはまる番号に1つ ○をつけてください。

1. 減少 2. 増減なし 3. 増加 4. 前年同期の実績なし

一般名処方せん割合



No,	一般名処方率割合	件数
1	90-100%	988
2	80-90%	312
3	70-80%	183
4	60-70%	137
5	50-60%	123
6	40-50%	96
7	30-40%	75
8	20-30%	52
9	10-20%	70
10	0-10%	209
合計		2,245
無効回答		250

一般名処方割合（前年同期と比較）



No.	一般名処方割合（前年同期と比較）	件数	割合
1	減少	61	2.8%
2	増減なし	857	38.7%
3	増加	1,118	50.5%
4	前年同期の実績なし	176	8.0%
合計		2,212	100.0%
無効回答		283	—

# 11. 因子間の相関関係（後発医薬品調剤割合75%未満）

後発医薬品調剤割合75%未満で後発医薬品調剤体制加算を算定していない下位群に限定して促進・阻害要因間の相関をみると、後発医薬品調剤割合との相関度合いが向上する。下位群においては、「後発医薬品説明・調剤積極性」「後発医薬品備蓄品目数」をはじめ、複数の促進・阻害要因が複合的に影響している状況がうかがえる。

No.		後発医薬品調剤割合	店舗数	処方せん集中度	かかりつけ薬局機能	後発医薬品備蓄品目数	備蓄外医薬品の入手容易度	後発医薬品説明・調剤積極性	後発医薬品に関する患者の意向確認手段多様性	後発医薬品の確認頻度	自己負担額軽減以外の説明	患者拒否割合	外用剤後発医薬品調剤積極性	内用剤後発医薬品調剤積極性	一般的に切替困難な後発医薬品調剤積極性	変更不可処方せん割合	一般名処方せん割合	後発医薬品採用リスト活用
1	後発医薬品調剤割合	1.00																
2	店舗数	0.19	1.00															
3	処方せん集中度	0.19	-0.18	1.00														
4	かかりつけ薬局機能	0.26	0.18	0.02	1.00													
5	後発医薬品備蓄品目数	0.41	0.35	-0.13	0.44	1.00												
6	備蓄外医薬品の入手容易度	0.23	0.05	0.03	0.14	0.13	1.00											
7	後発医薬品説明・調剤積極性	0.59	0.23	0.01	0.29	0.31	0.19	1.00										
8	後発医薬品に関する患者の意向確認手段多様性	0.29	0.17	0.07	0.33	0.25	0.35	0.34	1.00									
9	後発医薬品の確認頻度	0.26	0.13	-0.07	0.17	0.25	0.15	0.34	0.20	1.00								
10	自己負担額軽減以外の説明	0.27	0.05	0.11	0.25	0.12	0.31	0.32	0.47	0.20	1.00							
11	患者拒否割合	-0.16	-0.05	-0.06	0.02	-0.02	-0.07	-0.13	-0.01	0.04	-0.04	1.00						
12	外用剤後発医薬品調剤積極性	0.34	0.28	-0.05	0.23	0.30	0.11	0.46	0.11	0.25	0.18	-0.11	1.00					
13	内用剤後発医薬品調剤積極性	0.37	0.24	-0.08	0.24	0.32	0.07	0.46	0.17	0.24	0.16	-0.13	0.66	1.00				
14	一般的に切替困難な後発医薬品調剤積極性	0.37	0.21	-0.01	0.27	0.31	0.13	0.47	0.21	0.23	0.21	-0.14	0.64	0.64	1.00			
15	変更不可処方せん割合	0.05	-0.01	0.03	0.00	0.01	0.03	0.00	0.00	-0.08	0.01	0.00	0.03	0.03	0.06	1.00		
16	一般名処方せん割合	0.24	-0.03	-0.09	0.02	0.10	0.04	0.13	0.07	0.06	0.00	-0.02	0.05	0.10	0.03	-0.02	1.00	
17	後発医薬品採用リスト活用	0.06	0.12	-0.02	0.10	0.04	0.07	0.15	0.11	0.12	0.06	0.00	0.10	0.11	0.03	-0.03	0.01	1.00

| 相関係数 | =0.7~1 強い相関がある  
 | 相関係数 | =0.4~0.7 やや相関あり  
 | 相関係数 | =0.2~0.4 弱い相関あり  
 | 相関係数 | =0~0.2 ほとんど相関なし

※数値は相関係数

## 12.【上位群・下位群比較】後発医薬品説明・調剤積極性

後発医薬品調剤体制加算の算定基準となる75%を基準とし、上位群と下位群に分けて群間比較を行った。

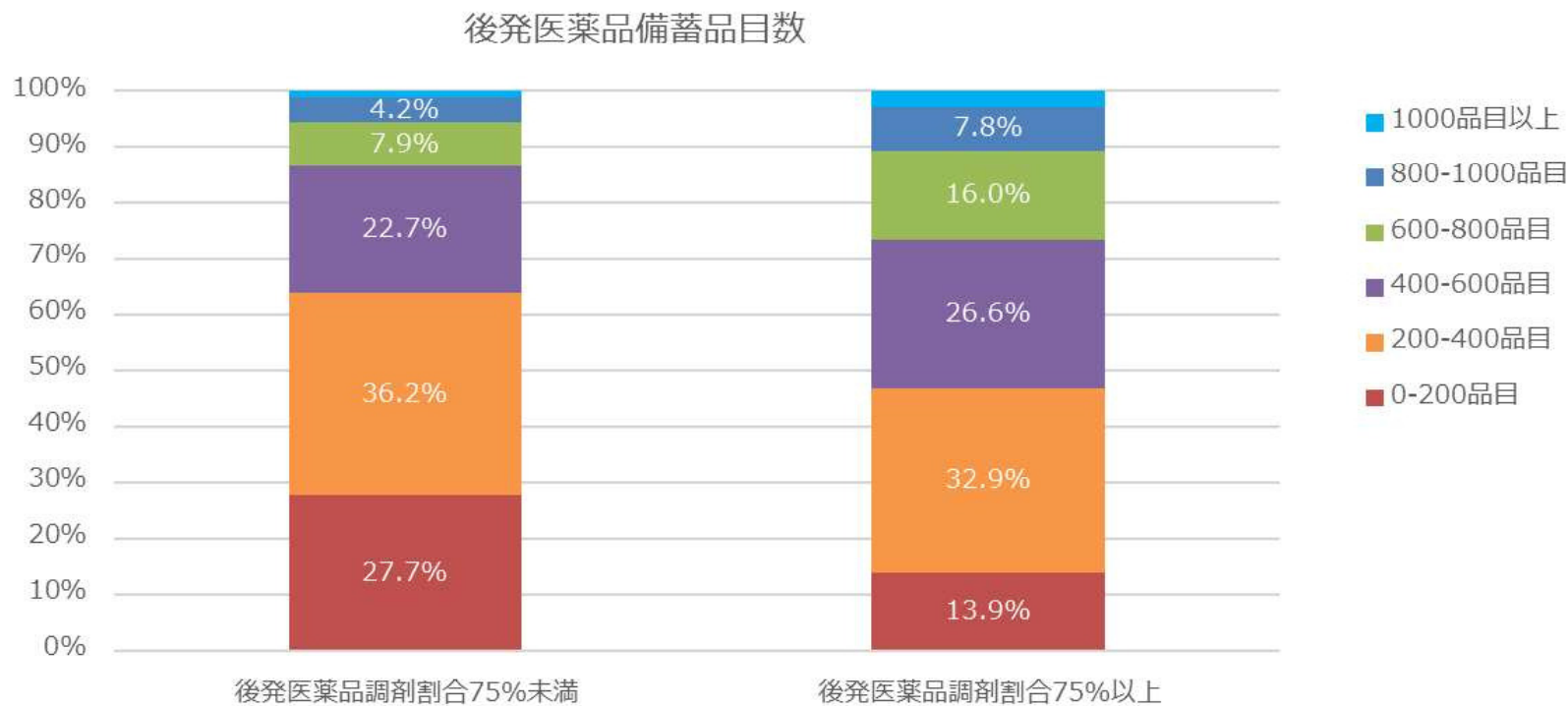
上位群と下位群では「後発医薬品説明・調剤積極性」に違いが見られ、上位群は下位群と比べより積極的に後発品の説明をして調剤するように取り組んでいる。



後発医薬品説明・調剤積極性	後発医薬品調剤割合			
	75%未満		75%以上	
	件数	割合	件数	割合
後発医薬品の説明・調剤にまったく取り組んでいない	9	1.3%	1	0.1%
後発医薬品の説明・調剤にほとんど取り組んでいない	6	0.8%	1	0.1%
後発医薬品の説明・調剤にあまり取り組んでいない	51	7.1%	6	0.4%
後発医薬品の説明・調剤にある程度取り組んでいる	328	45.6%	233	13.8%
全般的に、積極的に後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる	325	45.2%	1,446	85.7%
合計	719	100.0%	1,687	100%

### 13.【上位群・下位群比較】後発医薬品備蓄品目数

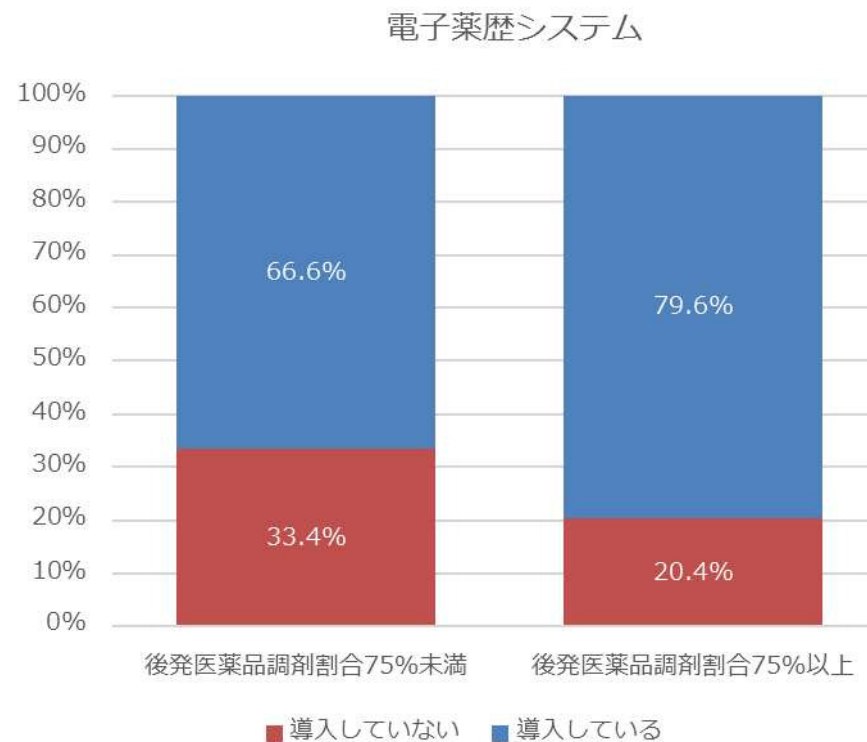
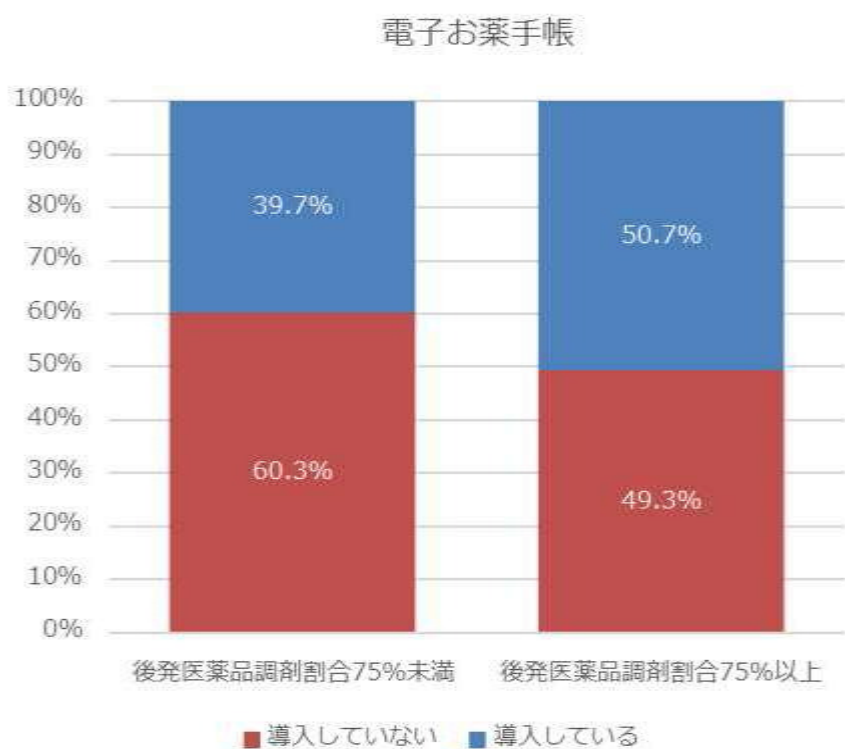
後発医薬品調剤割合上位群と下位群を比較すると、上位群の方が後発医薬品備蓄品目数が多い。



後発医薬品備蓄品目数	後発医薬品調剤割合			
	75%未満		75%以上	
	件数	割合	件数	割合
1000品目以上	9	1.3%	44	2.9%
800-1000品目	29	4.2%	120	7.8%
600-800品目	54	7.9%	246	16.0%
400-600品目	156	22.7%	409	26.6%
200-400品目	249	36.2%	506	32.9%
0-200品目	190	27.7%	214	13.9%
合計	687	100.0%	1,539	100%

## 14.【上位群・下位群比較】かかりつけ薬局機能

後発医薬品調剤割合上位群と下位群を比較すると、上位群の方が「電子お薬手帳」や「電子薬歴システム」の導入が進んでいる。

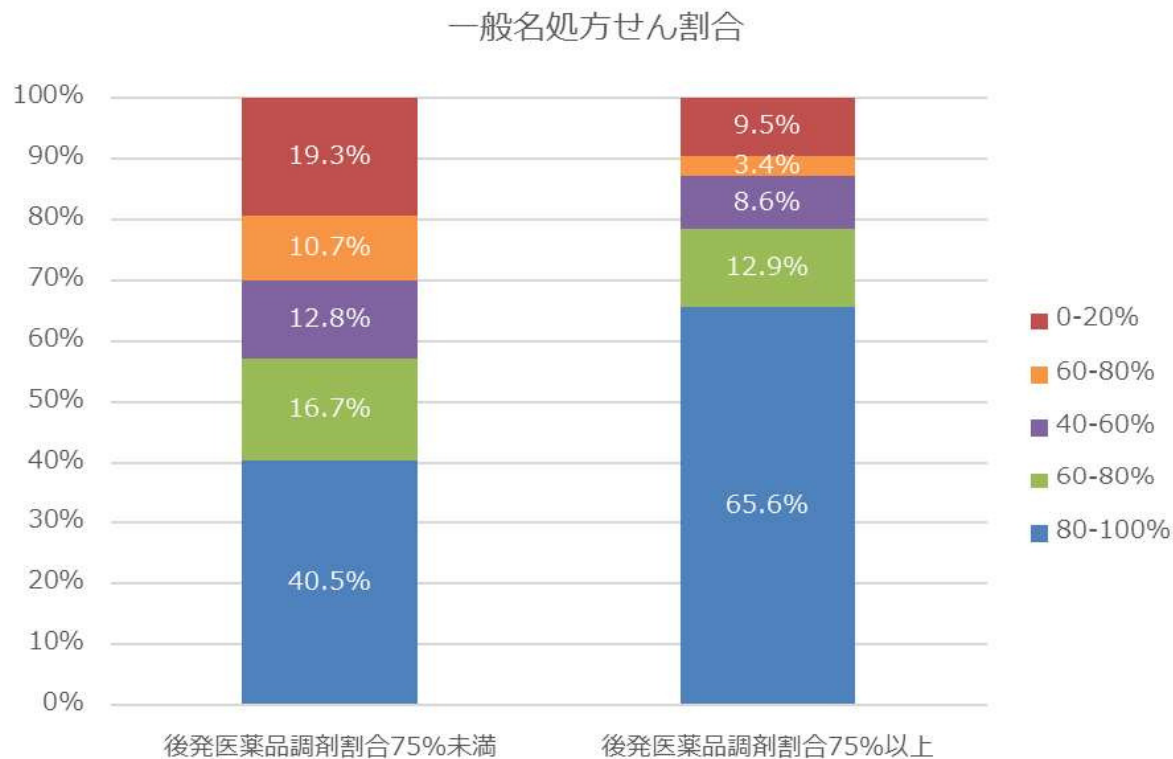


電子お薬手帳	後発医薬品調剤割合			
	75%未満		75%以上	
	件数	割合	件数	割合
導入している	284	39.7%	850	50.7%
導入していない	432	60.3%	827	49.3%
合計	716	100.0%	1,677	100.0%

電子薬歴システム	後発医薬品調剤割合			
	75%未満		75%以上	
	件数	割合	件数	割合
導入している	478	66.6%	1342	79.6%
導入していない	240	33.4%	344	20.4%
合計	718	100.0%	1,686	100.0%

## 15.【上位群・下位群比較】一般名処方せん割合

後発医薬品調剤割合上位群と下位群を比較すると、上位群の方が一般名処方せん割合が高い傾向がみられる。



一般名処方せん割合	後発医薬品調剤割合			
	75%未満		75%以上	
	件数	割合	件数	割合
0-20%	126	19.3%	146	9.5%
20-40%	70	10.7%	53	3.4%
40-60%	84	12.8%	132	8.6%
60-80%	109	16.7%	199	12.9%
80-100%	265	40.5%	1,010	65.6%
合計	654	100.0%	1,540	100%

## 16. 後発医薬品調剤割合に影響のある因子

後発医薬品調剤割合が75%以上の上位群では、特定の促進・阻害要因が影響する傾向はみられず、上位群全体に共通する課題は特に無いと考えられる。一方、下位群においては複数の促進・阻害要因が複合的に影響する傾向がみられ、特に「薬局の取組み姿勢」や「後発医薬品供給力」の影響が大きい。また一部医療機関において課題感の大きい変更不可処方せん問題は、下位群全体としてみた影響は小さい。

No.		後発医薬品調剤割合75%未満(下位群)	後発医薬品調剤割合75%以上(上位群)
1	後発医薬品調剤割合	1.00	1.00
2	店舗数	0.19	-0.03
3	処方せん集中度	0.19	-0.01
4	かかりつけ薬局機能	0.26	-0.04
5	後発医薬品備蓄品目数	0.41	-0.03
6	備蓄外医薬品の入手容易度	0.23	-0.01
7	後発医薬品説明・調剤積極性	0.59	-0.04
8	後発医薬品に関する患者の意向確認手段多様性	0.29	-0.02
9	後発医薬品の確認頻度	0.26	0.00
10	自己負担額軽減以外の説明	0.27	-0.01
11	患者拒否割合	-0.16	-0.05
12	外用剤後発医薬品調剤積極性	0.34	0.00
13	内用剤後発医薬品調剤積極性	0.37	0.03
14	一般的に切替困難な後発医薬品調剤積極性	0.37	0.04
15	変更不可処方せん割合	0.05	-0.01
16	一般名処方せん割合	0.24	-0.03
17	後発医薬品採用リスト活用	0.06	0.00

後発医薬品調剤割合75%未満(下位群)			
後発医薬品調剤割合への影響	影響因子	影響因子(内訳)	相関係数
大	薬局の取組み姿勢	後発医薬品説明・調剤積極性	0.59
		内用剤後発医薬品調剤積極性	0.37
		一般的に切替困難な後発医薬品調剤積極性	0.37
		外用剤後発医薬品調剤積極性	0.34
		後発医薬品意向確認手段多様性	0.29
		自己負担額軽減以外の説明	0.27
		後発医薬品の確認頻度	0.26
		後発医薬品備蓄品目数	0.41
大	薬局の後発医薬品供給力	備蓄外医薬品の入手容易度	0.23
小	薬局の機能	かかりつけ薬局機能	0.26
小	医療機関の協力	一般名処方せん割合	0.24